



### 執務室

脇机を廃止し、ワゴンレス・フリーアドレス運用を導入することにより、業務のペーパーレス化・DXを推進。ランダムなレイアウトとすることで、職員の回遊を促し、業務グループを超えたコミュニケーションの活性化や業務連携の強化に繋がっている。

令和7年1月、宮城県東京事務所は、職員のエンゲージメント向上や働きやすい職場環境の実現、DXの推進を目的として、オフィスをリニューアルしました。この取り組みは、令和4年度から県庁内で進められているオフィス改革の一環として実施されたものであり、県の出先機関にもその改革の波を広げること、宮城県全体の魅力やアピール力をさらに高める狙いがあります。

東京事務所は、出張等により職員の在籍率が低い日が比較的多い一方で、出張で上京してきた本庁職員が立ち寄り、タッチダウンオフィスとして活用されるという特徴があります。また、首都圏での宮城県の窓口として、自治体・企業関係者をはじめ観光情報を求める一般の方等の来客も多く、打合せスペースが慢性的に不足しているという背景がありました。

このような背景を踏まえ、今回のオフィス改革では、執務スペースに豆型のラウンドテーブルを採用し、複数名が同時に利用するスタイルのフリーアドレスを導入したことで、スペースの効率的な利用が可能になりました。



**入口** 首都圏事務所として、宮城への情報アクセスをいつでも・誰もが気軽に行えるよう、改革前は入口正面にあったパーテーションを廃し、開放感のある明るい雰囲気でも来客を出迎えている。



**情報コーナー** 入口付近に設けられ、開放感のある動線・レイアウトとし、閲覧スペースが広く確保されたことで、誰もが気軽に入りやすくなり、ストレスなく情報収集ができるスペースに。観光や移住・定住に関する情報、県産品の紹介など、県の魅力を幅広く発信している。

自由に席を選び、職員同士が自然に交流する機会が増えたことで、コミュニケーションの活性化や業務の連携強化にも繋がっています。

執務スペースの効率化に伴い、打合せスペースも拡充し、突然の来客や職員間の打合せにも対応できるようになりました。このほか、職員の多様な働き方を支えるための工夫が随所に施されています。たとえば、ファミレスブースや個人が集中して作業できる「集中ブース」といったABW(Activity-Based Working)スペースが整備されており、職員が自らの業務内容やコンディションに応じて働く場所を選択できるようになっています。加えて、ICTツールも充実させることで、効率的な業務遂行を支援し、業務の生産性を向上させる環境が整えられています。

このように、職員が柔軟に働ける環境が整備されたことで、より高いモチベーションを持って業務に取り組むことができる職場が実現されました。



Okamura HPでも  
ご覧いただけます





### 受付・ハイテーブル

来客対応用の受付・ハイテーブルは、来訪者の対応だけでなく、事業者との打ち合わせや職員の立ち会議スペースとしても活用。スツールの配色は「ずんだ」と「いご」をモチーフとし、さりげなく宮城をイメージ。



### 電源

机上面を広く利用するため、天板下にコンセントユニットを配置。



### モバイルロッカー

個人の荷物や書類を収納する個人ロッカー（投函口付・ダイヤル錠仕様）。机上面に天板を設け、簡易な打合せスペースとしても活用。



### 応接兼知事室

接遇対応の応接セットは既存のものを活用し、新たに職員間や来客との打合せなどに対応できる会議セットを配置。WEB会議・プレゼンテーション・ホワイトボードの機能を兼ね備えた多機能型ミーティングボードを整備し、迅速かつ円滑なコミュニケーションが図れるようになっている。



### ファミレスブース

背の高いハイバックタイプのソファで空間を仕切ることにより、籠り感が感じられつつ、窓側に配置することでカジュアルでフレキシブルに使える打合せスペースを実現。



### モバイルバッテリー

机上スペースや電源コンセントの位置を気にすることなく、目的に合わせて自由に場所を選択し、業務を行うことができる。



### 執務エリア

伊達政宗公の陣羽織の配色をモチーフとし、椅子のカラーバリエーションを選定。執務室を色どり、宮城らしさを演出するとともに、職場の明るい雰囲気づくりと職員の勤務意欲向上にも一役買っている。



### 座面下収納

ファミレスブースの座面下は収納スペースとなっており、備品や防災用品などの格納スペースとして活用。



### 役職席

役職席のサイドに椅子を配置することで、管理職が場所を移動することなくその場ですぐに打合せや相談が可能。コミュニケーションのとりやすい環境を整備することで、より一層の連携を促す。



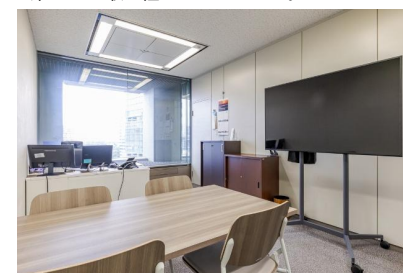
### 執務デスク

ラウンドタイプのテーブルは、座る位置によって隣席との距離を調節することが可能。作業の内容や使用するスペースに応じて距離を変えることで、快適性とコミュニケーションの両立を図ることができる。



### 集中ブース

窓際の僅かなスペースを有効活用し、上下昇降できるテーブル・椅子を配置。立ち姿勢でアイデアを練ったり、座り姿勢でじっくりと集中作業などに取り組むことができる。



### 所長室

打合せテーブルとモニターを配置。効率的かつ円滑なコミュニケーションが図れるよう整備され、プレゼンやWEB会議などにも迅速に対応。